

第40期 年次報告書

2019年4月1日～2020年3月31日



2020年3月期 連結決算ハイライト

売上高

36,700百万円

前年同期比 3.9% 増

営業利益

2,411百万円

前年同期比 79.6% 増

経常利益

2,832百万円

前年同期比 47.2% 増

親会社株主に帰属する当期純利益

2,035百万円

前年同期比 55.6% 増

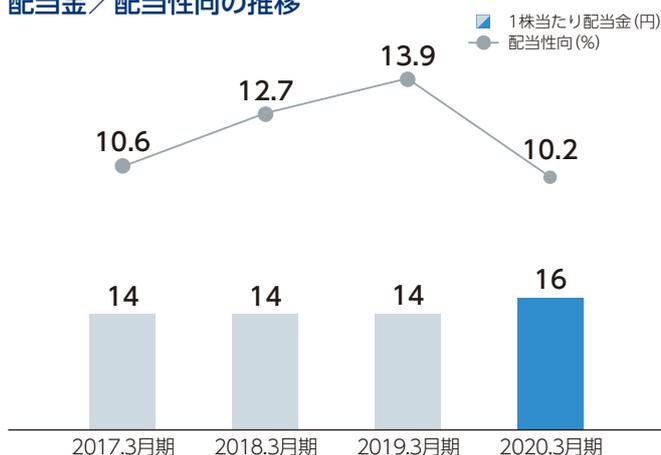
詳細は、当社ウェブサイトに掲載されているIR情報をご覧ください。

<http://www.terasaki.co.jp/investor/>



利益配分に関する基本方針

配当金／配当性向の推移



利益配分につきましては、安定的な配当の継続及び経営基盤の充実と今後の事業展開のための内部留保を確保しつつ、業績、経営環境及び財務状況等を総合的に勘案して決定することとしております。

株主の皆様へ

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く経済環境は、国内において、合理化・省力化を目的とした設備投資に加え、デジタル化に向けた非製造業による設備投資が増加しました。一方、海外においての設備投資は、総じて弱い動きとなりました。当社の主要顧客である造船業界においては、2020年1月から強化された海洋環境規制への対応に伴う工事が増加しましたが、貿易摩擦等の影響から新造船受注が低調に推移し、厳しい状況が続きました。また、世界的に新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界経済にも大きな影響を与えております。当社グループにおいても、連結子会社の操業が一時停止となったことにより、決算及び監査業務に遅延が生じ、株主の皆様へご迷惑をおかけしましたことを、改めてお詫び申し上げます。

このような状況のもと、2020年3月期連結業績は、船舶用システム製品(船舶用配電制御システム等)の陸電供給システム及びLNG船、並びに機器製品(低圧遮断器等)が減少したものの、中国の船舶用システム製品及び海洋環境規制関連が増加しました。その結果、前年同期と比べ売上高は増加し、利益面でも、原価及び経費低減に努めたこと等により、増益となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の2020年3月期連結業績に与える影響は、軽微でありました。

2020年度は、機器新製品の本格的な販売を開始いたします。従来製品より「環境」を意識し、計測精度及び通信機能を大幅に強化したことで省エネに貢献する製品を、お客様



代表取締役 社長執行役員
寺崎 泰造

のニーズに合わせて提供してまいります。また、船舶用システム製品、エンジニアリング及びライフサイクルサービスでは、引き続き海洋環境規制関連の受注に注力いたします。産業用システム製品は、国内外の鉄道関連市場及び再生可能エネルギー分野への活動を強化し、医療デバイスも、医療業界のニーズに合った新製品の開発に注力いたします。

新型コロナウイルス感染症に対しましては、引き続き当社グループ従業員、顧客及び取引先等の健康を最優先に、感染防止に努めつつ、事業活動へのリスク低減に取り組んでまいります。

各事業が「TEAM TERASAKI」としてグローバルに連携強化を行い、様々な顧客ニーズへの的確かつ迅速な対応により顧客満足度を高めることで、5事業それぞれの発展に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年7月



船舶用システム製品

船舶用市場における配電制御システムで世界のリーディングメーカーとして挑戦する



産業用システム製品

産業用市場における配電制御システムで価値ある独自性を発揮する



機器(ブレーカ)製品

世界で最も信頼されるブレーカメーカーになる



医療デバイス

医療デバイスメーカーとして人々の健康と安心に貢献する

配電制御の革新を 続けるテラサキ

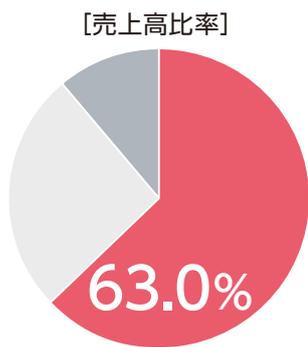


エンジニアリング及びライフサイクルサービス

エンジニアリング及びライフサイクル事業を通じて世界中のお客様にソリューションをお届けする

所在地別セグメントの概況

日本

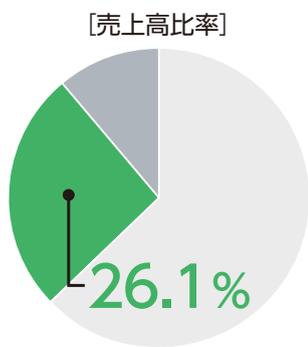


売上高 ▶ **23,140**百万円 (前年同期比 0.6%増) ▼

セグメント利益 ▶ **2,089**百万円 (前年同期比 60.8%増) ▼

- ▶ **船舶用システム製品**
陸電供給システム及びLNG船が減少するも、海洋環境規制関連製品及びコンテナ船が増加。
- ▶ **産業用システム製品**
国内及び海外プラント向けが減少。
- ▶ **メディカルデバイス**
医療機器及び臨床検査機器ともに堅調に推移。
- ▶ **エンジニアリング及びライフサイクルサービス**
海洋環境規制関連工事及び産業向けエンジニアリング案件が堅調に推移。
- ▶ **機器製品**
国内向け…低調に推移。
海外向け…船用市場向け及びオセアニア地域が増加。

アジア

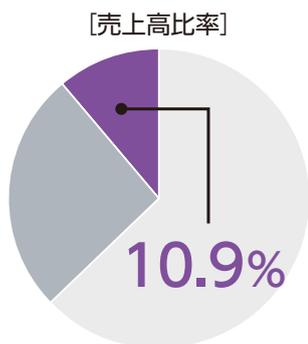


売上高 ▶ **9,570**百万円 (前年同期比 16.7%増) ▼

セグメント利益 ▶ **925**百万円 (前年同期比 30.7%増) ▼

- ▶ **船舶用システム製品**
バラ積み貨物船及びコンテナ船等が増加。
- ▶ **エンジニアリング及びライフサイクルサービス**
陸電供給システム及びSox規制等の海洋環境規制関連工事が堅調に推移。
- ▶ **機器製品**
OEMが増加するものの、マレーシア政権交代の影響等により、マレーシア国内向けが減少。

ヨーロッパ



売上高 ▶ **3,989**百万円 (前年同期比 2.9%減) ▼

セグメント利益 ▶ **238**百万円 (前年同期比 8.1%増) ▼

- ▶ **機器製品**
英国内はほぼ横ばい、中近東地域が堅調に推移するも、欧州地域が減少し、加えて為替の影響により減少。
- ▶ **エンジニアリング及びライフサイクルサービス**
レトロフィットビジネスが堅調に推移。

製品別

システム製品

(配電制御システム等)

売上高 **20,722**百万円
(前年同期比 8.9%増) ▼

受注高 **19,830**百万円
(前年同期比 0.8%減) ▼

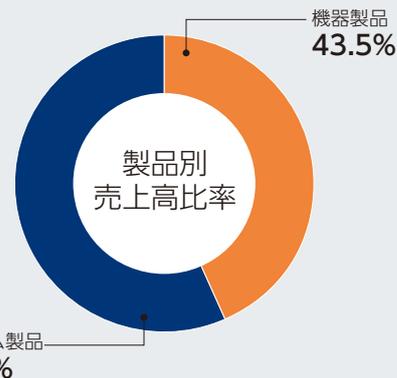
受注残高 **16,247**百万円
(前連結会計年度末比 892百万円減) ▼

機器製品

(低圧遮断器等)

売上高 **15,978**百万円
(前年同期比 1.8%減) ▼

(注) 機器製品は、計画生産を行っているため、受注高、受注残高は開示しておりません。

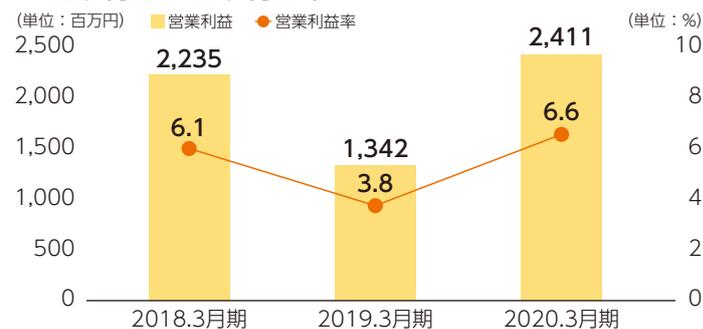


連結財務ハイライト

売上高



営業利益／営業利益率



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



自己資本比率



連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期末 (2019年3月31日現在)	当期末 (2020年3月31日現在)
[資産の部]		
流動資産	32,570	33,342
固定資産	12,179	13,425
有形固定資産	8,937	9,389
無形固定資産	165	129
投資その他の資産	3,076	3,907
資産合計	44,749	46,767

(単位：百万円)

科目	前期末 (2019年3月31日現在)	当期末 (2020年3月31日現在)
[負債の部]		
流動負債	12,546	11,763
固定負債	2,131	3,565
負債合計	14,678	15,328
[純資産の部]		
株主資本	29,427	31,279
資本金	1,236	1,236
資本剰余金	2,244	2,244
利益剰余金	25,947	27,799
自己株式	△1	△1
その他の包括利益累計額	607	124
非支配株主持分	37	34
純資産合計	30,071	31,439
負債純資産合計	44,749	46,767

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (2019年4月1日から 2019年3月31日まで)	当期 (2020年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	35,311	36,700
売上原価	25,733	26,459
売上総利益	9,578	10,241
販売費及び一般管理費	8,235	7,829
営業利益	1,342	2,411
営業外収益	625	553
営業外費用	44	131
経常利益	1,923	2,832
特別利益	208	80
特別損失	0	117
税金等調整前当期純利益	2,131	2,795
法人税、住民税及び事業税	512	689
法人税等調整額	313	71
当期純利益	1,305	2,034
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△1	△1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,307	2,035

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (2019年4月1日から 2019年3月31日まで)	当期 (2020年4月1日から 2020年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,112	2,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△437	△929
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,018	△839
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	△474
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△400	△195
現金及び現金同等物の期首残高	11,768	11,368
現金及び現金同等物の期末残高	11,368	11,172

新形ノーヒューズブレーカ TemBreak PRO



当社は、2020年度よりTemBreak2シリーズの後継となる次世代ブレーカとしてTemBreak PROシリーズを発売します。

100AF*~630AFでは、従来の熱動-電磁式及び電子式だけではなく、新たに省エネシステムに対応したスマートブレーカ(電路情報の計測・表示・通信機能付電子式ブレーカ)も開発しました。

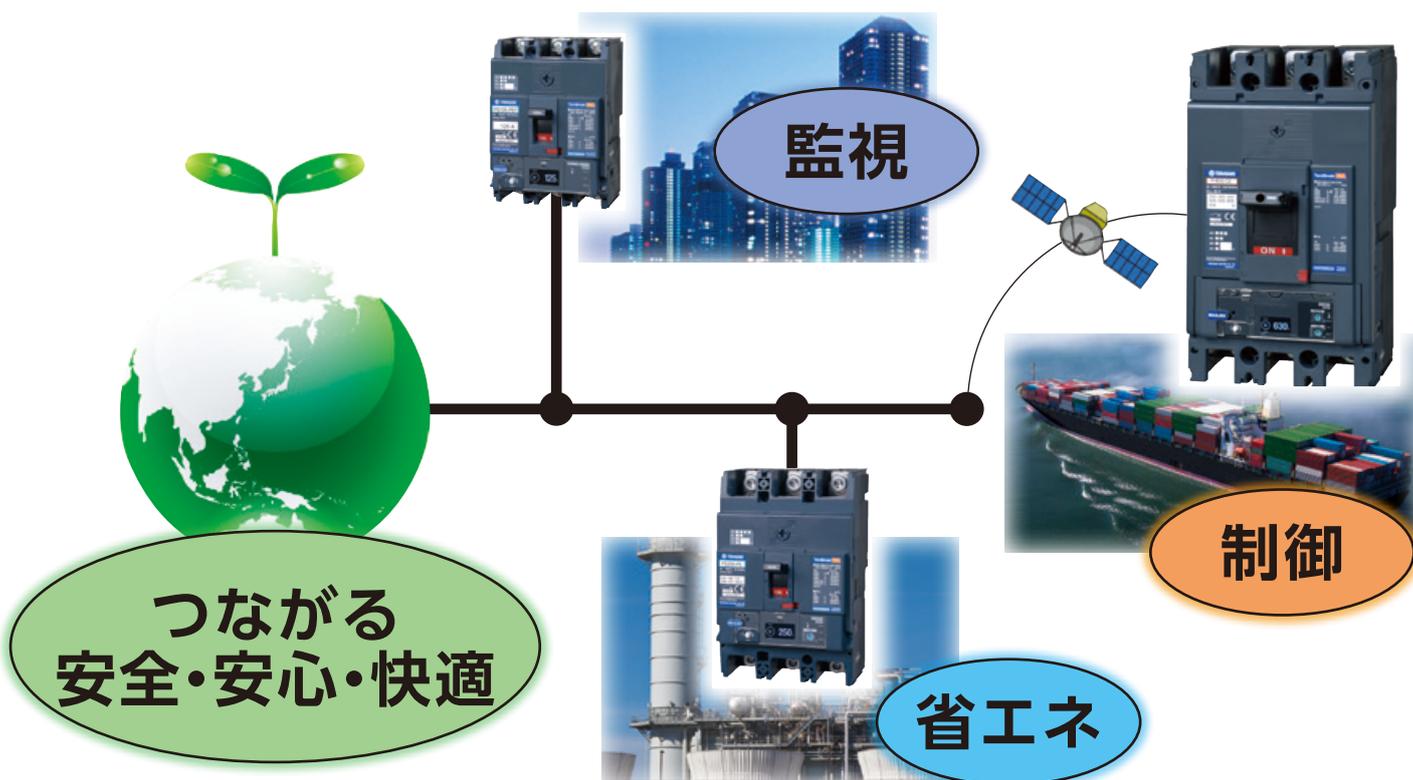
省エネシステムでは、電気使用量の管理が重要項目であり、そのために高精度の電力計測が求められます。TemBreak PROスマートブレーカは、計測精度が従来製品より各段に向上し、電流・電圧・電力・電力量等の電路状態が正確に監視できるようになりました。更に、通信機能も装備し、ネットワーク通信による電路情報の集

中管理が可能となります。

また、省エネシステムの省スペース化や環境負荷の低減を見据え、100AF/125AFでは従来製品より外形寸法を体積比82%、630AFでは体積比63%の小型化に成功し、100AF/125AFについては、スマートブレーカとしては業界最小サイズを実現しました。

当社はこのTemBreak PROシリーズにより、一般電路保護だけでなく、近年急速に計画が進められているスマートグリッドやエネルギー管理分野において、当社の配電制御技術を通じ、SDGsに貢献することで、持続可能な世界の実現を目指してまいります。

※AF(アンペアフレーム):数値が大きいほどブレーカの外形寸法が大きくなる



● 会社の概要

商号 寺崎電気産業株式会社
 本社 大阪市平野区加美東六丁目13番47号
 創業 1923年(大正12年)10月1日
 設立 1980年(昭和55年)4月1日
 資本金 12億36百万円
 従業員数 1,930名(連結)
 550名(単体)
 連結子会社 国内5社、海外8社

● 取締役及び執行役員 (2020年6月29日現在)

代表取締役社長	執行役員	寺崎 泰造	
専務執行役員	執行役員	周藤 忠	経理・経営企画・技術・情報開示担当
取締役	執行役員	岡田 俊二	システム事業担当
専務執行役員	執行役員	熊澤 和信	人事・総務・情報システム担当
取締役	執行役員	西田 昌央	システム事業船用担当 エンジニアリング・ライフサイクル事業担当
取締役	執行役員	梅本 好弘	機器事業担当
取締役	執行役員	小林 裕史	機器事業営業担当
取締役	常勤監査等委員	長瀬 順治	
取締役	監査等委員(社外)	千代田 邦夫	
取締役	監査等委員(社外)	鷹野 俊司	
執行役員		浜野 修次郎	人事・総務担当
執行役員		吉川 和宏	システム事業 メディカルデバイス担当
執行役員		西野 政治	機器事業 特命担当

● 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 なお、中間配当を実施するときの基準日は、9月30日といたします。
 定時株主総会 毎年6月下旬開催
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 電話 0120-094-777 (通話料無料)
 なお、特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求取次依頼書等)のご請求につきましては、インターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。
<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>
 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 JASDAQ市場
 公告方法 電子公告により行います。
 当社ウェブサイト <http://www.terasaki.co.jp>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行株式会社)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店でも取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。



〒547-0002 大阪市平野区加美東六丁目13番47号
 TEL: 06-6791-2701(代)

● 株式の状況

発行可能株式総数 52,000,000株
 発行済株式の総数 13,030,000株
 株主数 809名

● 大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社寺崎	2,200	16.89
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,154	8.86
寺崎 泰造	1,124	8.62
テラサキトラスト株式会社	866	6.64
荒巻 かおり	738	5.66
寺崎 雄造	677	5.19
テラサキ従業員持株会	666	5.11
株式会社芳山社	653	5.01
テラサキ共栄会	517	3.97
有限会社アーク	400	3.07

(注) 持株比率は自己株式(1,021株)を控除して計算しております。

● 所有者別分布状況



ウェブサイトのご案内

<http://www.terasaki.co.jp>

最新のトピックスをはじめ、業績報告や会社情報などをわかりやすくご案内しております。



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。

